

平成14年11月20日

東京都教育委員会 殿

東京都杉並区阿佐谷南 1-17-3

第34回全国バズ学習研究大会会長

東京都 杉並区立阿佐ヶ谷中学校長

長谷川 貢一

後援名義事業実施報告書

平成14年9月30日付け、14教指管援第158号をもって後援名義使用承認を受けた事業が予定どおり終了しましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 大会の名称

第34回全国バズ学習研究大会

2. 事業実施日

平成14年11月1日(金)

2. 参加者数

189名

4. 決算書

①収入の部

費目	項目	決 算	摘 要
参加費		100,000円	一般(48名)学生(4名)
本部補助		200,000円	なし
計		300,000円	

②支出の部

費目	項目	決 算	摘 要
印刷費		119,700円	・大会要項、資料等の印刷製本
会議費		29,413円	・大会運営会議
事務費		29,103円	・大会要項発送、消耗品等購入
接待費		92,331円	・役員弁当、お茶代その他
その他		29,453円	・借損料等
計		300,000円	

5. 事業報告書資料(別添)

- (1) 第34回全国バズ学習研究大会 提案要項
- (2) バズ学習とは
- (3) バズ学習・協同学習
- (4) 基調講演要旨
- (5) 分科会の進め方

6. 大会を終了して

当日は学校公開日で展示活動も並行して行われたので、本校保護者の方々にも関心が見受けられた。

1) 保護者や地域の方々のアンケートから

- ・開会行事の基調講演は大変分かりやすかった。
- ・午後の分科会は、提案者ごとにスモールグループをつくり、参加者一人一人が発言していた。和やかな雰囲気の中で、それらの質問や意見、参加者の体験などがグループに配布された、印刷用紙の包み紙の裏に書き出され掲示されていた。これは大変分かりやすく、素人の者にも問題点など良く分かった。これからの授業参観が楽しみである。
- ・閉会行事で、各分科会の報告に、参会者が話し合われた事を書いた発表用紙を使っていたが、その分科会の雰囲気が出ていて良かった。
- ・この時期学校行事等で大変だったと思いますが、もっと多くの先生方の参加があると良かった。

2) 一般参加者のアンケートから

- ・分科会で助言者と参加者がスモールグループをつくりバズセッション (buzz session) が行われていたので、大会に本当に参加したという実感を持った。良いお土産が出来た。
- ・分科会方式は、明日の授業にそのまま使えるし、地域の方々も気楽に参加できるのではないかと思った。

第34回全国バズ学習研究大会を引き受け、その成果が直ぐに現れるとは思っていないが、1日だけではあったが全国の参会者の真剣な姿が本校の教育活動により良い刺激を与えてくれたと思っています。

終わりに当たって、貴教育委員会のご後援をいただいたことに深く感謝しております。

これからも全校を上げて未来ある子どもたちのために日々の研鑽を積み上げていく所存でございます。今後ともよろしくご指導・ご鞭撻をお願いします。

【参考】参加者内訳（都教委報告には合計数だけにしました。）

189名

内訳	来賓・役員・報道関係……	25名
	第1分科会……	9名
	第2分科会……	14名
	第3分科会……	11名
	第1分科会……	11名
	学生、一般（阿佐ヶ谷中保護者を含む）	
	……	119名